

「木造平家建住宅（片流れ屋根）」課題ルーブリック評価表

図面名		配置図兼平面図・屋根伏図・断面図・立面図		出席番号	氏名
No.	評価観点		評価尺度		
			評価 A (点)	評価 B (点)	評価 C (点)
1	共通	下書き線・基準線（通り芯、高さ、勾配）	下書き線を極細線で正確に作図した上に、基準線（一点鎖線）を細線で丁寧に作図できている。	下書き線を極細線で正確に作図できていなかったり、基準線が不正確、丁寧に欠ける箇所がある。	下書き線が太く目立っている。基準線も丁寧に作図できていない。
2	配置図兼平面図	壁・柱	基準線からの振り分けが正確で、縮尺に応じた壁厚や線の太さ（極太線）で作図できている。	基準線からの振り分けが不正確で、縮尺に応じた壁厚や線の太さで描いていない箇所がある。	基準線からの振り分けが不正確で、縮尺に応じた壁厚や線の太さで作図できていない。
3		開口部	壁厚や建具の収まりを意識した開口部端部の位置取りと表現ができている。	壁厚や建具の収まりを意識した開口部端部の位置取りと表現ができている箇所がある。	壁厚や建具の収まりを意識した開口部端部の位置取りと表現ができている。
4		家具・衛生機器・樹木等の見えがかり	正確な大きさで、細線の実線・破線・点線を使い分けて丁寧に作図できている。	正確な大きさでない箇所や、一部細線の実線・破線・点線を使い分けせずに作図されている箇所がある。	不正確な大きさで、細線の実線・破線・点線を使い分けできていない。
5		室名・寸法等	寸法、方位等の線の使い分けや、下描きの字幅線を引いて丁寧にわかりやすい室名等の記載になっている。	寸法、方位等の線の使い分けや、下描きの字幅線を引いてなかったり、丁寧にわかりやすい室名等の記載になっていない箇所がある。	寸法、方位等の線の使い分けや、下描きの字幅線を引いていなかったり、丁寧にわかりやすい室名等の記載になっていない。
6		線の使い分け	外形線（太線）、屋根仕上線（細線）、壁位置線（太線一点鎖線）、屋根隠れ線（太線点線）をしっかりと使い分けて作図できている。	外形線（太線）、屋根仕上線（細線）、壁位置線（太線一点鎖線）、屋根隠れ線（太線点線）を使い分けて作図できていない箇所がある。	外形線（太線）、屋根仕上線（細線）、壁位置線（太線一点鎖線）、屋根隠れ線（太線点線）を使い分けて作図できていない。
7	屋根伏図	文字・寸法等	寸法等の線の使い分けや、下描きの字幅線を引いて丁寧にわかりやすい記載になっている。	寸法等の線の使い分けや、下描きの字幅線を引いてなかったり、丁寧にわかりやすい記載になっていない箇所がある。	寸法等の線の使い分けや、下描きの字幅線を引いていなかったり、丁寧にわかりやすい記載になっていない。
8	断面図	平面図からの下書き線	平面図を用紙の上部に貼って、通り芯や開口部の位置を下書き線で断面図に引き下ろして整合性を確認しながら作図できている。	平面図を用紙の上部に貼って、通り芯や開口部の位置を下書き線で断面図に引き下ろして作図しているが、整合性が不十分な箇所がある。	平面図を用紙の上部に貼らずに、お手本の断面図の寸法を測りながら作図している。
9		切断線（屋根・壁厚・開口部・床・天井等）	下書き線を極細線で正確に作図した上に、基準記号、基準線（一点鎖線）を細線で丁寧に作図できている。	下書き線が極細線で正確に作図されていなかったり、基準記号、基準線が不正確、丁寧に欠ける箇所がある。	下書き線が太く目立っている。基準記号、基準線も丁寧に作図できていない。
10		家具・建具等の見えがかり	家具・建具等の見えがかり線が細線で正確かつ丁寧に作図できている。	家具・建具等の見えがかり線が細線で正確かつ丁寧に作図できていない箇所がある。	家具・建具等の見えがかり線が細線で正確かつ丁寧に作図されていない。
11	室名・寸法等	寸法等の線の使い分けや、文字が下書きの字幅線を引いて丁寧にわかりやすい記載になっている	寸法等の線の使い分けや、文字が下書きの字幅線を引いて丁寧にわかりやすい記載になっていない箇所がある。	寸法等の線の使い分けができず、文字に下書きの字幅線を引いて丁寧にわかりやすい記載になっていない。	
12	立面図	平面図からの下書き線	平面図を用紙の上部に貼って、通り芯や開口部の位置を下書き線で立面図に引き下ろして整合性を確認しながら作図できている。	平面図を用紙の上部に貼って、通り芯や開口部の位置を下書き線で立面図に引き下ろして作図しているが、整合性が不十分な箇所がある。	平面図を用紙の上部に貼らずに、お手本の立面図の寸法を測りながら作図している。
13		外形線（屋根・壁）	外周の輪郭線を極太線で遠近感を出し、地盤線を超極太線で安定感を出し、正確かつ丁寧に作図できている。	外周の輪郭線を極太線ではなく、地盤線を超極太線ではなく、正確かつ丁寧に作図できていない箇所がある。	外周の輪郭線を極太線ではなく、地盤線も超極太線ではなく、正確かつ丁寧に作図できていない。
14		開口部等見えがかり	開口部は、極太線と細線を使い分けメリハリがあり、その他の見えがかりも正確かつ丁寧に作図できている。	開口部は、極太線と細線を使い分けができず、その他の見えがかりも正確かつ丁寧に欠ける箇所がある。	開口部は、極太線と細線を使い分けができず、その他の見えがかりも正確かつ丁寧に欠ける。
15		寸法、文字等	寸法等の線の使い分けや、文字が下書きの字幅線を引いて丁寧にわかりやすい記載になっている。	寸法等の線の使い分けや、文字が下書きの字幅線を引いて丁寧にわかりやすい記載になっていない箇所がある。	寸法等の線の使い分けや、文字が下書きの字幅線を引いて丁寧にわかりやすい記載になっていない。
16	共通	課題全体の完成度	全体のレイアウトが良く、用紙の汚れもなく、紙面全体が美しく仕上げられている。	全体のレイアウトが片方に寄っていたり、部分的に汚れており、美しさへの配慮が不足している。	全体のレイアウトが悪く、用紙の汚れが目立ち、美しさへの配慮が明らかに欠けている。
		小計			
備考					合計